

とっとり 県議会だより

編集・発行…鳥取県議会

県議会広報紙…年4回発行 平成27年12月1日発行

平成27年9月定例会

No.014

Sep.

9月
議会

📌 主な記事 Contents

代表質問	2~3p
一般質問	3~8p
委員会活動	8~9p
議決結果	10~11p
学生議会	12p
お知らせ	12p



鳥取看護大学 橋本真奈美さん



鳥取大学 西 慶太さん



公立鳥取環境大学 浦嶋 栄樹さん



鳥取短期大学 安治 俊介さん



米子工業高等専門学校 坂根すず香さん



鳥取短期大学 井回 征哉さん



鳥取大学 太田 有紀さん



鳥取看護大学 杵村 裕佳さん



公立鳥取環境大学 浅井 真由さん

10月20日開催の学生議会に参加の皆さん

9月定例会の概要

9月定例会は9月11日に開会。

平井知事から総額29億8千万円余の平成27年度鳥取県一般会計補正予算案や特定地域等の振興を促進するための県税の課税の特例に関する条例の一部改正など18議案が提案された。

本会議では、代表質問は鳥取県議会自由民主党と鳥取県議会民主党の2会派が、一般質問には28名の議員が登壇し、県政の諸課題について、知事や教育長、警察本部長らと活発な議論を展開した。

会期中、知事からは退職手当不支給処分に対する審査請求の裁決に係る諮問事項が追加提案された。

審議の結果、知事提出議案については、16議案を原案どおり可決、認定。諮問事項1件は知事の裁決案を適当と認めたほか、決算認定2件を継続審査とした。

議員提出議案では、会期中の10月5日にTPP交渉が大筋合意に達したことから「TPP（環太平洋経済連携協定）に関する万全の対策を求める意見書」の1議案を提案し、賛成多数で可決した。

請願・陳情については「若者ふるさと定着奨学金」（仮称）の創設を求める陳情が趣旨採択となったほか1件を研究留保、7件を不採択と決して、10月9日に29日間の会期を閉じた。

代表質問

9月定例会では、野坂道明議員

(鳥取県議会自由民主党)、興治英夫議員(鳥取県議会民主党)が、県行財政上の諸問題について、会派を代表して質問を行いました。

鳥取県議会自由民主党



野坂 道明 議員
選挙区 米子市

国会問題について

問 国会議員が地方の声を国政に届ける役割を担っているのは言うまでも無く、二院制の本旨からしても、1県に1議員を確保すべきであり、憲法改正を視野に国に対して強く働きかけるべきだと思いが、知事の所見を伺う。

答 民主主義のユニットとして都道府県が機能していることを考えれば、それに基づく選挙制度があつてしかるべきであり、憲法論も含めて知事会などの議論を喚起

してまいりたい。

骨太方針と地方創生

問 アベノミクスの効果を地方まで行きわたらせるためにも、地方の財政需要を地方財政計画に的確に反映し、地方一般財源の総額を確保する事が、地方創生の実現に向けて国の責務だと思いが、知事の所見を伺う。

答 地方創生を進めるのであれば、新型交付金は額も限られており、一般財源総額の方が大切である。新型交付金も上手に活用しながら、行財政改革努力もあわせてやるべき事には挑戦をしていく姿勢が大事だと思う。

TPPの影響と対応

問 TPPは本県の農業にとって大変なピンチだが、高付加価値化によりチャンスに変えることも可能である。農業活力増進プランを羅針盤に、どの様に対応するのか、知事の所見を伺う。

答 影響はある程度受けると思

うが、大切な事はいかに競争力を高めるかであり、農業活力増進プランを前に進める必要があり、低コストハウスの導入等、戦略的な活力増進プランの推進を図ってまいりたい。

市町村への支援

問 地方創生に係る市町村の新型交付金申請が、不採択だった取り組みの内、県の人口ビジョンの実現に寄与するものについては、県単独でも支援するのか、知事の所見を伺う。

答 県も後見役として市町村の地方創生が円滑に進むように、県の役割も果たすところは果たして参りたい。

政府機関の地方移転

問 ハローワークの都道府県移管の検討が始まるようだが、こうした動きを加速させる必要があると思いが、知事の所見を伺う。

答 石破大臣の賛同も得られており、この秋が勝負どころだと思いが、しっかりと主張したい。

米子駅南北一体化事業

問 新駅ビルの整備について、1・2階をJR、3・4階を米子市と

県で受け持つと仄聞しているが、どのような機関の入居を想定しているのか。

答 JR米子支社は現行の物販と飲食、米子市は市民が集えるような機能、鳥取県は消費生活センター等を検討している。

鳥取県議会民主党



興治 英夫 議員
選挙区 倉吉市

地方創生、国は本気が

問 地方創生に関して、国の来年度新型交付金の要求額が1080億円で、今年度の1700億円にも及ばず全く不十分だ。政府機関の地方移転も極めて消極的で、国の本気度を疑う。かつての「闘う知事会」のような活動をすべき。

答 全国知事会と石破大臣が少々バトルモードだ。知事会側は1080億円では足りず拡大すべきだと。頑張り始めた市町村の灯を消さぬように、財源確保へ知事会として闘う姿勢でやっていく。本県は統計センターなどの移転を求め

ているが、国の対応は冷淡だった。石破大臣にも申し上げていく。

問 県の総合戦略は、人口が減る中山間地での達成目標が少ない。

答 中山間地の振興についてはKPI（※）等をもう一度精査して加えるべきは加える方向で検討する。

TPPと農林業振興

問 TPPは畜産、酪農への影響が大きい。十分な対策が必要だ。

答 乳用牛への和牛の受精卵移植や経営転換などの支援を考える。酪農は500頭規模の農場を作る畜産クラスターの支援を進めたい。

問 和牛、きぬむすめ、しいたけなどの食材のブランド化とともに食材を使った料理の開発・普及を。

答 来年度予算の中で、鳥取の名物料理を応援するようなプロジェクトを考えてみたい。

問 中山間地域の基盤整備事業について、農地の集積率に応じて農家負担を最大ゼロにできる制度を周知するべきだ。集落での農業の将来像を描く人・農地プラン作成に、県の関与を強めるべきだ。

答 各方面に周知し取り組みを強化する。人・農地プランを作ったのは221集落で、全集落の14%だ。100の重点集落を設定し、

市町村、農協等と推進する。

地域医療と健康づくり

問 県民のがん死亡率は全国ワースト3位。平均寿命、健康寿命、喫煙、飲酒、野菜摂取量、一日の歩数など健康指標も総じて悪い。

答 健康寿命全国1位などの目標を掲げ、全市町村で地域医療保健活動、健康づくり活動を強めるべき。

問 特に男性で肝臓がん、胃がん、肺がんの死亡率が高い。がん検診受診率向上対策にさらに取り組む。身近な野菜をたくさん食べるなどの生活習慣の改善、健康づくりが大事だ。市町村や大学、医師会など関係者の力を結集して、集落や地域に入り込んで県民一丸となるような行動計画を、新年度に向けて作って実践していきたい。

問 地域医療構想策定に関して、国は1500床の病床削減目標を示したが、県の将来予測では医療需要は伸び、現状より多く必要。一方、在宅医療の体制整備も必要だ。

答 国には現場をよく見てくれと言っている。地域にふさわしい医療構想となるよう取り組む。在宅医療については、訪問看護ステーションが足りない。体制整備へ医療関係者等と話し合ってみてみたい。

一般質問

9月定例会では、28人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

花御所柿のブランド化

福田 俊史 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

問 県では地方創生に向けての県版総合戦略の中で食のみやこ鳥取のブランド発信を大きく掲げているが、これを機に鳥取県の隠れた逸品であり日本一の甘柿である花御所柿のブランド化を進めてみてはどうかと思うが知事の所見は？

答 花御所柿は糖度が非常に高く果肉も緻密、見栄えも大きさも他の柿にない特徴がある。御所柿の一種として売り込むより新品種として売り込んだ方が新規性があるのではないかと。花御所柿もブランド化に結びつけたいと思う。

外来生物対策更なる促進を

前田 八壽彦 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 生態系や人間活動の影響が大きい日本の侵略的外来種100種のうち特定外来種が10種、それ以外の外来生物が36種、県内で確認されている。その対策は。

答 外来生物対策は前田議員の質問もあり意識改革や施策を推進してきた。今年と来年で生物多様性基本法に基づく地域戦略を策定する。生物多様性を保全する為の緩やかな戦略と外来生物に対する厳しい規制も盛り込みながら戦略をまとめる方向である。この2つの柱で戦略づくりに舵を切りたい。

会派正式名称

- 自由民主党：鳥取県議会自由民主党
- 民主党：鳥取県議会民主党
- 希望：鳥取県議会希望
- 公明党：公明党鳥取県議会議員団
- 共産党：日本共産党鳥取県議会議員団

※KPI・・・「重要目標達成指標」組織が一定の目標を達成するため、目標に向かってのプロセスが順調に進んでいるかどうかを点検する最も重要な指標

平和な生活・地方創生

横山 隆義 議員



選挙区 東伯郡 会派 希望

問 ①戦後70年、政治の基本は命を大切にすること考えるが、平和への思い、平和をめぐる政治情勢についての認識を問う。②ソフト面を充実させた魅力ある鳥取づくりが高齢移住者を増やし、地方創生につながるのではないか。

答 ①平和は我が国の一番大きな財産。県民の暮らし、命のためにこの身をささげていきたい。②高齢者の生きがいづくり、健康づくりや人材バンク等様々なモデル事業に取り組み、幸せが約束されるふるさとづくりが県政の使命。

アートピアで移住の促進を

川部 洋 議員



選挙区 倉吉市 会派 希望

問 アートを使った地域おこしは全国でも行われているが、鳥取県の藝住祭というのは非常にユニークな試みなので、地方創生の目玉戦略として藝住IIアーティスト移住を打ち出してはどうか？

答 鳥取らしい地方創生として「アートピア」づくり、すなわちアーティストに住んでもらうという本来我々が目指していたところを進めていければと思っている。アートピア構想についてはぜひ世に訴えかけるようなことをしていきたい。

気高道の駅鳥取地鶏ピヨ

中島 規夫 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 ①H29開通の西道路に関連した「気高道の駅」②瘦せる砂浜海岸と砂が堆積する港の整備③食のみやこ鳥取県の一つである鳥取地どりピヨ、以上3点の現状と今後について知事の考えを伺う。

答 ①道の駅の事業主体が国が県かで協議しているがスケジュールが遅れないようにする②海岸と港はサンドリサイクルで修復していくなどの方法はあるが、井手ヶ浜は必要な予算を確保して進める③ピヨの生産拡大体制を現場サイドで意見交換し改めて議会で諮る。

CCRC、県立美術館など

藤井 一博 議員



選挙区 東伯郡 会派 自由民主党

問 ①生涯活躍のまち構想実現への決意は②県立美術館建設について③インバウンド増加を活用した県中部の観光振興策を。

答 ①地方創生の一つのモデルとして、地域の特性を尊重しながら、部局横断的な体制の下で構想の実現を図る。②美術館建設の必要性はあると考える。具休案については、県民の合意を得た上で、議場での審議を経て決める。③環日本海交流の重要性は認識している。中部観光の一つの基軸として燕趙園の観光振興を図っていく。

鳥取県の観光戦略を問う

木村 和久 議員



選挙区 鳥取市 会派 民主党

問 今後、中海穴道湖圏へ動く関西・山陽エリア、時間距離が短くなる名古屋エリアの自家用車・バス利用のお客様は、必ず無料の鳥取道・山陰道を使う。動線を分析しターゲットを絞り、商品造成・営業が必

要だかどうか。

答 議員がおっしゃっているように、交通が変わってくることに対応した戦略・お金が落ちる仕掛け、経済効果が上がるように地域を作り変えていく事など、基本的な戦略は同感であり、議員の方向性と一致していると思う。

大規模養鶏場の悪臭対策

鳥谷 龍司 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 鳥取市賀露の大規模養鶏場の悪臭は、空港や港、県東部の観光商業拠点の「かろいち」等に近接するため、住民は勿論、観光客へも多大な悪影響を与えているが、移転等を含め根本的な対策を講ずべきと考えるが見解を伺う。

答 事業者の多大な負担などで移転は現実的には大変困難だが、臭気対策をしっかりと行っていくという鳥取市の方針を踏まえ、市と十分に連携して、事業者に対しても技術的、財政的支援を必要に応じてやっていきたい。



観光、酪農の振興策、防犯

広谷直樹議員



選挙区 岩美郡 会派 自由民主党

問 ①本県の観光の現状と将来の姿は。「瑞風」運行への対応は。②酪農に関する補助制度の条件緩和、予算枠拡大等制度拡充の検討が必要。③防犯カメラ設置・運用のガイドラインの策定が必要。

答 ①観光はこれからの地域を動かしていく。本県の良さを磨き上げ世界のリゾート地として確立する。瑞風の運行成功に向けて良好な環境作りに動きたい。②国の制度に漏れる場合、県の補助制度を組む形で再整備の必要性がある。③今年度中に作れるよう急ぐ。

教育現場での拉致問題学習

松田正議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 子どもたちに拉致問題の実情を伝えていくことが風化を防ぐ上で最も重要である。教育現場での拉致問題指導資料の活用状況をお聞かせいただきたい。

答 (教育長) 初任者研修等の機会を捉えて、模擬授業を実施するなどして、具体的な活用方法について教職員の理解を深めるように工夫しながら取り組んでおり、全県で約40校で指導資料を活用した学習を行っている。引き続き拉致問題に対する理解を深めるための学習の推進を行っていききたい。

大山山頂 天空のホタル

澤紀男議員



選挙区 米子市 会派 公明党

問 大山の山頂付近に生息するヒメボタルは日本で一番高い標高に生息している。保護団体による調査、ヒメボタルと大山を結びつけた情報発信について知事に伺う。

答 山頂にはヒメボタルが生息している環境があることが立証されたと思う。新年度予算に調査費を計上し研究調査を行いたい。情報発信では、天空にホタルが舞うようなユニークな自然、それが大山だと訴えることも一案だと思う。来年、米子で開催するホタルサミットの財政的支援も含め応援する。

街なかの若者 居住とWEB

福浜隆宏議員



選挙区 鳥取市 会派 無所属

問 ①若者が住みたいと思える街なか居住施策の強化を②映像を活用したWEB発信を③ガイナール応援機運の再構築を④教育現場で保護者対応に当たる専門家庭教育を。

答 ①当初予算で仕掛けづくりを

考える②映像多用は賛成。情報提供する人の都合で作る面からベクトルを切り替えて再構成したい③厳しい状況にあるからこそ、もう一度原点に立ち返る必要がある。子どもたちも生の姿を見る機会を確保したい④(教育長) 専門人材によるチーム対応等を検討する。

スポーツと 地域活性化

浜崎晋一議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 ①ジャマイカ鳥取キャンプの大成を機に、布勢のブランド化、スポーツと観光振興を融合した地域活性化を推進すべきでは。②ジャマイカ自治体との姉妹交流に向けて、スポーツに加え、文化など様々な交流を進めてはどうか。

答 ①布勢総合運動公園のブランド化に向けて整備を進めつつ、DMO(※)等も活用し、スポーツコミッション機能を強化したい。②姉妹都市提携に向けて先方と協議し、キャンプ地誘致にとどまらず様々な交流を進めていきたい。



女性活躍と 特別支援教育

浜田 妙子 議員



選挙区 米子市 党派 民主党

問 ①女性活躍推進法が成立。女性が輝く鳥取県を作るための方針は②ア健康・障がい者共に芸術に取り組み意義は③鳥取養護学校看護師全員辞職問題頭末と対策は。

答 ①全国初の法律上の協議会「輝く女性活躍加速化鳥取会議」がコアとなり取組みを進める。特定事業主行動計画や男女共同参画推進計画を同時並行で連動させながら進めていく。②（教育長）ア相互理解と共生社会実現に通じる③必要な看護師確保と再発防止を目的とした支援体制強化を図る。

酪農支援対策 再構築したい

伊藤 保 議員



選挙区 東伯郡 党派 民主党

問 酪農は生産額が66億円。米作、養鶏に続く基幹産業である。近年TPPへの不安もあり、廃業する酪農家が増加。生乳の生産量も6万トンから5万6千トンと減少の一途。裾野の広い産業でもあり、

増頭対策を含め現実的な支援策が必要ではないか。

答 雇用も千人を超え、経済規模も135億円。国のクラスター計画を踏まえた上、増頭対策を進めるため、農家や関係団体の皆さんの意見を聞きながら、現行の単県事業を再構築したい。

留学生支援と 企業誘致支援

福岡 裕隆 議員



選挙区 西伯郡 党派 民主党

問 ①県奨学金制度を中国河北省・吉林省の留学生へも拡充を。県内への就職支援は？②企業誘致支援は運輸産業も含めた全業種が対象となるよう見直すべき。

答 ①生活費や短期留学の対象制度はあるが、意見があれば、制度の拡充、変更も検討し得る。留学生と企業のマッチングの機会を考えてみたい②企業立地はケースバイケースで製造業に準じた形で適用。雇用助成は県内の運輸業で働く皆さんの要望があれば、制度改正が必要なものとして考えたい。

介護保険・肝 炎被害者救済

錦織 陽子 議員



選挙区 米子市 党派 共産党

問 ①鳥取県の第6期介護保険料は月平均6144円で全国4位。国に保険料軽減の財源確保と県独自で軽減策を②薬害によるC型肝炎患者は発症までの経過が長く、救済法に必要なカルテの証明が困難だ。国に抜本的改正を求め、定期検査の負担軽減に県の支援を。

答 ①鳥取県は高齢者施設が充実しサービス水準が高いため膨らんでいる。県の軽減策は考えていない②母子手帳や本人証言を使うなど本来の救済趣旨に合う解決を求める。国が所得制限緩和を検討中。

高齢者の自動 車安全運転

森 雅幹 議員



選挙区 米子市 党派 民主党

問 高齢者が地域で生活する上で、自動車免許は命綱。認知症が疑われる者は返納が必要だが、それ以外の者に、安全に長く運転可能となる訓練や講習こそが必要。そのための事業ができないか？

答 高齢者に、なくてはならないものが自動車（免許）だ。コミュニケーション体験・適性検査・指導等気軽に受けることができ、高齢運転手はその能力を発揮できる環境づくりの充実について、市町村始め関係機関等を含め、いいアイデアがないか協議してまいりたい。

人財づくり、 人財確保

浜田 一哉 議員



選挙区 境港市 党派 自由民主党

問 ①教職員の多忙解消や、講師等のケア、苦情等に対応するため、教務主査のような中間管理職を配置しては②県内の実業高校について、専門性の高い学科の設置やカリキュラムなどの工夫をすべき。

答（教育長）①主幹教諭などの配置拡大をはじめ、学校がチームとして効果的に機能するようさらに整備を進めていく。②学校と企業との連携を一層強化し、職業人として求められる人材を育成できるように、カリキュラムを見直していく。





鳥取港の活性化・環境改善

濱辺義孝 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 鳥取港は、県東部にあり重要港湾の指定を受け、山陰地方東部経済圏、漁業で働く人達の拠点港として期待されている。みなとオアシス全国協議会交流事業を活用し港の活性化とハード面での課題に対する取り組みを推進するべきであるが知事に問う。

答 みなとオアシス運動について、住民の皆様の活動は、地方創生を起こしていく上で重要なセクター。今後、支援応援をしていきたい。環境ハード面の対策は港の実相を検証し推進して行きたい。

鳥獣害対策と河床問題

西川憲雄 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

問 ①鳥獣害対策の現状と取り組みは？鹿対策として今後メスを重点的に捕獲してはどうか？②多くの所で河床が上がり危険な状態が見受けられる。県工事の基準に満たない地域も点検し、危険箇所には対策が必要と思うがいかがか。

答 ①メスを重点的に捕獲する事は個体数を減らす上で大きな効果が見込まれると思われ、取り組んで行く②河川災害の防止は行政の基本。日頃から点検し、現場の声を謙虚に受けとめて今後も河川の安全対策を怠りなく進めていく。

安保健法、「地方創生」、教育

市谷知子 議員



選挙区 鳥取市 会派 共産党

問 ①安保健法廃止。鳥取空港非軍事利用協定堅持②地方創生は、赤字6億のDBS、香港定期便、1分短縮に1億の鳥取空港港賀露道路の外需のムダ中止。本県内中小企業の仕事起し、県立・民間施設の地産地消、精神障がい者地域支援助成継続を③鳥取養護学校教員の医療的ケア研修。薬のミス等ヒヤリハット未報告の校長の責任。

答 ①議論収束せず。協定は尊重②外需は促進。中小企業へ物品調達を工夫。精神障がい支援継続③研修は検討。校長は真摯に対応。

米子中央線緊急避難道路

内田隆嗣 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 米子中央線は左手に公会堂を見て境方面に行くとT字で突き当たりになり、T字の手前が中央分離帯がある両側2車線道路である。公会堂方面から渋滞があると緊急車両が通行できない状態にな

る。緊急、防災という観点から、ここは改善すべきだと考えるが、御所見を伺う。

答 緊急車両通行の支障について早速調査したい。今年度調査を行う予算を確保している中で、それを使いながら検証していきたい。

高齢者雇用や総合対策を

銀杏 泰利 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 ①高齢化社会に適応した広範囲な高齢者総合対策を②介護現場でのア処遇改善の実施を①労働意欲向上や職場定着を後押しする取り組みを③高齢者雇用への対応は④ミドル・シニアプラザの高齢者への仕事の相談や紹介を拡充すべき。

答 ①いきいき長寿の鳥取県づくりの研究会を発足させる②ア事業所に対する指導をしていく①議員指摘の方向性で体制づくりを進める③人材の活用という意味で体制づくりを進める④拡充のあり方を検討する。



大山への 冬季国体招致

内田 博長 議員



選挙区 日野郡 会派 自由民主党

問 冬季スポーツのメッカとして繁栄した大山ブランドの再興に向けて、大山開山1300年祭に合わせ冬季国体スキー競技会を招致してはどうか。

答 地元では人員確保などの不安感があるという課題はあるが、スキー関係者から期待の声もあり、大山開山1300年祭をPRするにはいい大会。方向性を出していくべき時期だと思う。メリットや課題を出しながら、関係者間でまずは議論して、議会なり県民合意をはかっていきたい。

鳥取県造林公社について

坂野 経二郎 議員



選挙区 鳥取市 会派 民主党

問 日南町では、間伐材販売収入に各種補助金を足し、残額を7対3の割合で地主と分収する。鳥取県造林公社は、補助金を足さない。その結果、同じ事業でも、地主への分収対象金は、日南町

は220万の黒字。造林公社は230万の赤字。なぜ造林公社がこのような考え方をしているのか問う。

答 日南町は、木材の販売代金及び補助金から経費を差し引く記載が契約書にある。造林公社にはない。硬直的に考えるのではなく、新年度に向け仕組みを話し合う。

鳥取県の あすの教育

長谷川 稔 議員



選挙区 倉吉市 会派 無所属

問 ①三位一体改革で県は負担増。教育予算への影響は②小中一貫教育の導入について③小学校の統廃合計画が進んでいるが小規模校が存続する場合、加配職員などで支えていく方針を明言頂きたい④高校存続へ学級定員減の検討を。

答 (教育長) ①市町村の協力で少人数学級に10億円を県独自に投入。琴の浦高等特別支援学校開校等が実現②小中一貫教育の実践例を提供し、推進する市町村を支援③複式の解消に加配、講師配置で充実に努力④幅広い方策で最大限努力を払う。

知財ビジネス マッチング

稲田 寿久 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 開放特許については、知財法の趣旨から、利用者のプライバシーの保護は重要な課題であると思う。知的所有権センターはどのような体制とセーフティネットができていますか。通常実施権は債権的権利であって、同時に二人以上に付与することが可能である。このことが将来中小企業同士のライセンズの競合を惹起しかねない。これに対する防衛策は大丈夫か。

答 知的財産権保護の見地から、秘密保持を堅持しつつ、弁理士を置いてその体制を組織している。

答弁者は、記載のないものは知事(各部長の答弁も含む)。教育長は知事の部局ではないため別に表記した。



常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会

9月定例会では、本委員会所管の27年度一般会計補正予算の本委員会所管分など5議案を審議し、原案通り可決した。「退職手当不支給処分に対する審査請求の裁決」に係る諮問については、飲酒運転が不起訴であった点、退職手当の報償的性格や賃金の後払い的性格等を併せ持つ点、さらに、この裁決が審査請求人の人生・生活に極めて重大な影響を及ぼす点を考慮しつつ、慎重に審議した結果、諮問に対する議会に対する意見は、棄却とする。



市立米子養護学校の調査

「裁決案は適当」と決した。「県立高等学校の数の維持と学級定員の引き下げ」を求める陳情については、研究留保として引き続き議論することとした。

会期中に養護学校を訪問。市立米子養護学校では、市設置の養護学校の現状と課題を調査し、県の役割について、今後も委員会で継続して議論することとした。また、看護師一斉退職のあった県立鳥取養護学校では、医療的ケアを含めた体制の整備について確認した。

福祉生活病院常任委員会

9月定例会では、本委員会所管の平成27年度一般会計補正予算をはじめとした3件の議案について、慎重審議の結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

補正予算の主な事業としては、ジャマイカ選手のキャ



富山型デイサービス事業所「赤いふうせん」の調査

ンプ地となったコカ・コーラウエストスポーツパークについて、日本パラ陸上競技選手権大会等に向け、バリアフリー対策とトラック機能の向上のための改修などがあった。

また、介護事業者の不適切な事務処理による指定取消処分が3件相次いで発生したことから、県民の信頼を失墜しないよう、抜本的な対策をとるべきとの意見が多かった旨、委員長報告で申し添えた。

7月の県外調査で訪問した富山県では、乳児、幼児から障がい者、高齢者まで同一の空間を共有する富山型デイサービスを運営する事業所を調査し、本県でも実施している共生ホームのあり方を検討する上で、大変参考になった。

農林水産商工常任委員会

9月定例会においては、当常任委員会に付託された補正予算案他4件の議案を慎重審議の結果、全て原案どおり可決した。

補正予算の主な事業は、農林水産部関係（1億4千3百万円）は、水田での園芸作物に転換するためモデル的に排水対策を行う事業

や鳥取型低コストハウスの導入を進める事業であった。

商工労働部関係（7億9百万円）では、中小企業の新規

需要獲得に向けた設備投資が大きく伸びているのを踏まえ、県版経営革新総合支援を増額するほか、市町村が行う工業団地を整備するための事業等であった。条例については、各普及所に設置している普及指導活動評価検討会を全県で一本化する内容や、自営を目指す者の県立農業大学の受講料を無料とする内容の一部改正であった。

また、7月に実施した青森県の輸出拡大戦略や八戸港のHACC P等高度化対策の調査は、今後の事業審議に大変参考となった。

地域振興県土警察常任委員会

8月11日、米子市内において県内調査を行い、「東山運動公園の運営状況等」、「中国横断自動車道岡山米子線「米子」境港間」、「米子



青森県八戸港の視察

駅南北自由通路等整備事業」について、地元関係者の方と意見交換を行い、今後の事業実施の方向性等議論を深めることができた。

また、9月定例会においては、「平成27年度鳥取県一般会計補正予算」他4議案について慎重に審議を行った。その結果、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決あるいは、認定すべきものと決定した。

また、新たに1件の陳情の提出があった「県議会議員選挙における掲示場用ポスター作成経費の適正執行については、当該制度は、金のかからない選挙実現、候補者間の選挙運動の機会均等を図るための公

金負担制度であり、公職選挙法施行令の改正の都度、県の条例を改正し、国と同様の公費負担制度としてこのことから「不採択」と決定した。



米子市内における県内調査

付議案等 議決結果

自由民主党											民主党						公明党		<small>のぞみ</small> 希望	共産党	無所属	賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果							
野坂道明	浜崎晋一	浜田一哉	広谷直樹	福田俊史	藤井一博	藤縄喜和	前田八寿彦	松田正	安田優子	山口享	齊木正一	伊藤保	興治英夫	木村和久	坂野経三郎	浜田妙子	福岡裕隆	森雅幹	銀杏泰利	澤紀男	濱辺義孝					川部洋	横山隆義	市谷知子	錦織陽子	長谷川稔	福浜隆宏	
議案に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	認定	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決	
委員長報告に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	研究留保	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	24	10	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	26	8	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	33	1	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	18	16	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	22	12	34	趣旨採択	

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」「適当」「継続審査」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑫	財産を無償で譲渡し、及び無償で貸し付けること（鳥取県営米子屋内プールの建物及び用地）について	可決
⑭	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県営東山水泳場）について	可決
⑮	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立とっとり花回廊）について	可決
⑰	平成26年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び平成26年度鳥取県営企業決算の認定について	継続審査
⑱	平成26年度鳥取県営病院事業会計資本剰余金の処分及び平成26年度鳥取県営病院事業決算の認定について	継続審査
諮問①	退職手当不支給処分に対する審査請求の裁決について	適当

1 賛否が分かれた議案及び否決された議案

議案等番号	件名	自由民主党						
		稲田 寿久	上村 忠史	内田 隆嗣	内田 博長	島谷 龍司	中島 規夫	西川 憲雄
①	平成27年度鳥取県一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○
④	特定地域等の振興を促進するための県税の課税の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
⑤	鳥取県附属機関条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
⑬	関西広域連合規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○
⑯	平成27年度鳥取県日野地区連携・共同協議会決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
●	T P P（環太平洋経済連携協定）に関する万全の対策を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告						
請願27年-23	淀江産業廃棄物管理型最終処分場計画の事業計画とアセス購入費のための6月補正予算の執行停止及び「構造見直し」のための9月補正予算案の否決について	不採択	○	○	○	○	○	○
請願27年-25	「請願・陳情に関する取り扱い要領」の変更について	不採択	○	○	○	○	○	○
請願27年-26	陳情の上程・委員会付託に係る基準について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情27年-12	県立高等学校の数の維持と学級定員の引下げを求めることについて	研究留保	○	○	○	○	○	○
陳情27年-19	ガソリン価格の適正な表示等について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情27年-20	県議会議員選挙における掲示場用ポスター作成経費の適正執行について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情27年-21	指定介護施設の事業に係る県条例等について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情27年-22	原子力防災における安定ヨウ素剤の事前配布及び国への意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情27年-24	「若者ふるさと定着奨学金」（仮称）の創設について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案

賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

2 全会一致で議決された議案

議案等番号	件名	議決結果
②	平成27年度鳥取県営電気事業会計補正予算	可決
③	平成27年度鳥取県営病院事業会計補正予算	可決
⑥	鳥取県立社会福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
⑦	鳥取県立農業大学の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
⑧	鳥取県営企業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
⑨	工事請負契約（県庁第二庁舎外壁改修他工事）の締結について	可決
⑩	工事請負契約（（仮称）八橋警察署庁舎等新築工事（庁舎棟・建築））の締結について	可決
⑪	工事請負契約（県立鳥取西高等学校整備事業（8工区）（建築））の締結について	可決

平成27年度学生議会を開催

鳥取県の次世代を担う学生たちが本会議場の壇上に立ち、知事や教育長らに本番さながらに県政の課題を質す学生議会が、10月20日（火）開かれ、大学生らが若者の雇用や移住定住策などについて、活発な議論を展開した。

今年度は鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校から合計9人の学生が知事らに論戦を挑んだ。

学生1人に1人ずつ、担当の県議会議員を配置。アドバイスを受けながら質問原稿を作成した。



質問や提言の多くは、身近な生活の中の疑問や思いを質問として練り上げたもので、知事や教育長らも丁寧な答弁で対応した。

答弁の中には、学生からの提言に対して「来年度の当初予算で検討する。」といったものもあり、若者の声が今後の県政に反映されていく一端となる学生議会となった。

(質問順)

学校名	学生氏名	質問項目
鳥取看護大学	橋本真奈美	労働者教育について
鳥取大学	西 慶太	若者の雇用・女性の雇用環境について
公立鳥取環境大学	涌嶋 栄樹	まんが王国を観光振興につなげるために
鳥取短期大学	安治 俊介	中心市街地の現状、対策について
米子工業高等専門学校	坂根すす香	奨学金制度について
鳥取短期大学	井口 征哉	SNSを用いた情報発信について
鳥取大学	太田 有紀	他県出身者が鳥取県で働くことについて
鳥取看護大学	杵村 裕佳	鳥取県の看護師の人材確保について
公立鳥取環境大学	浅井 真由	若者の移住定住について

県議会を傍聴しませんか

県議会の審議は公開されており、どなたでも本会議、委員会などの会議を傍聴できます。暮らしに直結する審議が、どのように進められているのか、直接見てみませんか。

議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

※傍聴席に同時手話通訳が見られるディスプレイを設置しています。手話通訳を希望される方の事前申込みが不要となりました。

※音声聞き取りづらい方には、補聴イヤホンの貸出しもありません。お気軽にご利用ください。

※9月定例会から乳幼児を連れたの傍聴が可能となりました。0歳から小学校入学前までのお子様も事前の許可なく傍聴ができます。

なお、従来から実施している託児サービスも引き続き行っています。ご希望の方は5日前までに県議会議務局へお申込みください。



ネットでもご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会、全員協議会はインターネット(<http://www.pref.tottori.lg.jp/gikai/>)で生中継と録画中継をしています。

本会議はケーブルテレビでも放送しています。



※ご不明な点はお気軽に原議会議務局総務課(☎0857-2617460)へお問い合わせ下さい。

11月定例会の日程案

期日	日程
11月30日(月)	本会議(開会・提案理由説明)
12月1日(火)	常任委員会
2日(水)	本会議(代表質問)
4日(金)	本会議(一般質問・質疑)
7日(月)	
9日(水)	
10日(木)	
14日(月)	
15日(火)	常任委員会
17日(木)	
18日(金)	
21日(月)	本会議(採決・閉会)

※日程は変更の可能性があります